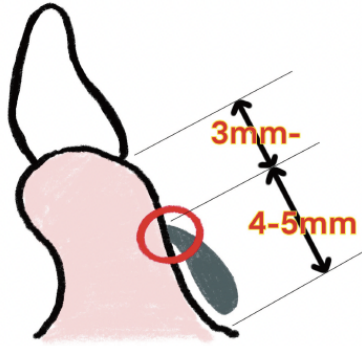


下顎残存歯の舌側歯槽堤を横に走るバー



バーの上縁は歯肉縁から3mm以上離す

→歯肉縁から口腔底までの距離が7~8mm以上必要

特徴

上縁は粘膜面と接触(図の赤丸)

食片圧入を防ぐ

それ以外の場所はリリース必要

→義歯使用時の沈下による粘膜の圧迫を防ぐ為

良いところ

バーが歯や辺縁歯肉と接触しない

衛生的

自浄性が高

悪いところ

舌感がやや悪い

他の下顎用大連結子と比べて、幅が狭いため

使用する金属によっては強度を考慮する必要あり

コバルトクロム合金は幅広めで薄く

金合金は幅狭めで厚く